

ミニシター
あぜみち通信

* * * * *

平成29年1月1日

第193号

編集・発行：(一社)愛知県農業会議

新年おめでとうございます

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年4月1日の改正農業委員会法の施行により、農業委員会制度は大幅に改正されました。

改正の内容は、「農地利用の最適化」を農業委員会の業務として位置づけたこと、農業委員を選挙制から任命制に改めたこと、農地利用最適化推進委員を新設したこと、農業会議を従来の認可法人から知事の指定する農業委員会ネットワーク機構として位置付けたことなどであります。

県内では、北名古屋市、武豊町、設楽町が昨年の4月1日から新体制に移行しており、本年はあま市を皮切りに7月を中心に8割の市町村が新体制に移行することとなっております。

新体制への移行に伴いまして、農地利用の最適化に関する指針の策定を始め、農業委員と推進委員との連携、農業委員会と農地中間管理機構との協力体制のあり方など対応すべき課題が多く存在いたします。

このようなことから、農業委員会組織である農業会議としましても、的確な情報の提供に努め、担い手への農地の利用集積や耕作放棄地の発生防止・解消などの農地利用の最適化の推進を図ることにより、地域農業・農村の発展に全力で取り組む所存でございますので、皆様の格別のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方にとりまして実り豊かな年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

一般社団法人 愛知県農業会議 会長 川上 万一郎

あけましておめでとうございます

皆様にとりまして、本年が良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も、愛知県農業会議の事業へのご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

愛知県農業会議 職員一同

◎ 全国農業委員会会長代表者集会が開催されました

12月1日に東京都港区の「東京・メルパルクホール」において、一般社団法人全国農業会議所主催の平成28年度全国農業委員会会長代表者集会が開催されました。

冒頭、全国農業会議所の二田会長から、農業委員会の新体制への移行について万全の対応を期する旨の主催者挨拶がありました。また、来賓として、衆議院の北村農林水産委員長、参議院の渡辺農林水産委員長から挨拶がありました。

大会は二部構成で行われ、第一部では、「農地利用の最適化を加速させよう」をテーマに、パネリストに小笠原岩手県北上市農業委員会会長、大橋栃木県栃木市農業委員会会長、藤井福岡県糸島市農業委員会会長及び笠原にいがた女性農業委員の会会長、助言者に安藤東京大学大学院教授及び三浦秋田県農業公社（秋田県農地中間管理機構）理事長を迎えてパネルディスカッションが行われました。討議後、申し合わせ決議が行われ、第1号議案「農地利用の最適化の推進に関する申し合わせ決議」及び第2号議案「情報提供活動の一層の強化に関する申し合わせ決議」を採択しました。

第二部は、要請決議が行われ、「農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請決議」を採択し、片山岡山県農業会議会長の発声によりガンバロー三唱を行い、大会を終了しました。

要請決議については、参議院議員会館において、愛知県選出の自由民主党国会議員の皆様、川上農業会議会長及び稲葉大府市農業委員会会長を始めとする代表から要請活動を実施しました。



◎ 常設審議委員会（12月）の審議状況について

12月5日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

12月の諮問は、農地法第5条に基づく転用事案16件、80,760㎡についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

◎ 尾張地域協議会を開催しました

愛知県農業会議では、平成28年度から一般社団法人に改組したのを契機に、従来の支部に替えて新たに八つの地域協議会を設置しました。

構成員は、従来の支部においては、農業委員会会長及び事務局長でしたが、これに市町村の農政担当部課長等を加え、これまで以上に会員相互の連絡調整や情報の共有を強化することとしています。

12月9日に愛知県桜華会館（中区）において、農業会議の平成28年度第1回尾張地域

協議会を開催しました。規約を制定した後、会長による互選の結果、岩田金利氏（一宮市）を会長、加藤 基氏（瀬戸市）、古田みちよ氏（江南市）及び安藤丁士氏（豊山町）を副会長に選出しました。また、今後の活動の方向性などについて議論しました。

◎ 愛知県米需給調整推進会議が開催されました

12月14日に、名古屋市中区の「JAあいちビル」において、愛知県米需給調整推進会議が開催されました。

会議は、報告事項として、県農林水産部から①平成28年産米の需給調整の概要及び取組状況、②平成28年度経営所得安定対策等の概要及び取組状況、③平成29年産米の需給調整と経営所得安定対策等について説明があり、また、東海農政局から米政策について情報提供がありました。

協議事項として、平成29年産米の市町村別生産数量目標及び自主的取組参考値の設定方針を承認した後、市町村別生産数量目標及び自主的取組参考値を原案どおり承認しました。また、平成30年産米以降、国から米の生産数量目標の配分が示されなくなることへの対応については、愛知県米需給調整推進会議のあり方も含めて今後調整がなされるとの説明がありました。

◎ 農林畜産物品評会表彰式等が開催されました

12月16日に、名古屋熱田区の「熱田神宮会館」において、愛知県農業協同組合中央会及び熱田神宮豊年講の共催により、農林畜産物品評会表彰式並びに熱田神宮農業功労者顕彰式が開催されました。

表彰式開催前に、関係者出席のもと、熱田神宮神楽殿において「平成28年度農業感謝祭」が厳かに執り行われました。

表彰式は、愛知県農業協同組合中央会会長、豊年講総代の主催者挨拶、熱田神宮宮司の挨拶の後、第35回熱田神宮農業功労顕彰状が鳥居勝行氏（花き・観葉部門、碧南市）、柴田 勝氏（花き部門、豊川市）及び加藤直之氏（野菜部門、田原市）の3名の方々に贈呈されました。

顕彰状贈呈後、平成28年度農林畜産物品評会の審査報告があり、農林水産大臣賞、熱田神宮宮司賞は榊原伸良氏（品目：にんじん、碧南市）及び横井明子氏（品目：ほうれんそう、大治町）、東海農政局長賞は伊藤嘉則氏（品目：キャベツ、豊橋市）、愛知県知事賞は竹下健二氏（品目：ほうれんそう、新城市）、鈴木和典氏（品目：蜂蜜、瀬戸市）、杉浦 功氏（品目：さといも、岡崎市）、鋤柄広之氏（品目：みかん、蒲郡市）、岩瀬義秋氏（品目：うるち米、西尾市）、河合幸康氏（品目：ブロッコリー、田原市）、愛知県議会議長賞は杉浦通仁氏（品目：菊、田原市）、名古屋市長賞は近藤正俊氏（品目：にんじん、天白区）、山口 保氏（品目：さといも、緑区）、名古屋市会議長賞は山口智広氏（品目：さつまいも、緑区）が受賞したのを始め、合計で始め387名の皆さんが受賞しました。

なお、品評会には、種芸608点、園芸品1,501点、苗木花木108点、畜産林産農林畜産加工292点の合計2,509点の出品がありました。

◎ 愛知農業賞表彰式が開催されました

12月19日に、名古屋中区の「JAあいちビル」において、公益財団法人愛知県農業振興基金による、平成28年度愛知農業賞（あいちアグリアワード）表彰式が開催されました。

表彰式は、可知理事長の主催者挨拶後、竹谷審査委員長から各部門の審査講評があり、担い手育成部門は名古屋市のオアシス21における「朝市村」の運営や新規就農者の育成に取り組む吉野隆子氏（名古屋市）及び元高校教員で農業経営者の育成や技術指導に取り組む夏目安勝氏（新城市）、技術改善部門は県農業総合試験場が開発した不耕起V溝直播機の実用化に取り組む鋤柄農機株式会社（岡崎市）、農業・農村振興部門はモモ専作農家で小牧市のモモ生産部会員の生産技術向上に取り組む鈴木 明氏（小牧市）が受賞されました。表彰式終了後、受賞者による記念講演が行われました。

◎ 東海四県農業会議事務局長会議が開催されました

12月27日に静岡県静岡市の「静岡中央ビル」において、東海四県農業会議事務局長会議が開催されました。全国農業会議所の柚木事務局長から農業競争力強化プログラムの策定、規制改革、国家戦略特区等の動向、農地利用最適化交付金の積極的な活用など最近の情勢と今後の対応について説明がなされた後、報酬条例の改正、農地ナビ・フェーズ2への移行、常設審議委員会の運営等について情報交換を行いました。

◎ 平成29年度農業委員会関係予算案の概要

農業委員会交付金 47億円（47億円）・農地利用最適化交付金等 70億円（20億円）
機構集積支援事業 29億円（22億円）

農業人材力強化総合事業（旧新規就農・経営継承事業） 202億円（193億円）

農地耕作条件改善事業 236億円（123億円）

中山間地農業ルネッサンス事業 400億円（一部公共。優先枠等を設けて実施）

◎ 今後の主な行事予定

1月10日 常設審議委員会（三の丸庁舎）

1月19日 農地利用最適化交付金に関する説明会（中区、桜華会館）

1月23日 農地集積推進委員会（中区、JAあいちビル）

1月31日 都道府県農業会議事務局長会議（東京都、参議院議員会館）

1月31日 農業者年金業務担当者研修会（JAあいちビル）、重点巡回指導（豊橋市）

2月 2日 農業会議地域協議会会長会議（中区、銀行協会）

2月 6日 常設審議委員会（三の丸庁舎）

2月 8日 都道府県農業会議会長会議（東京都、蚕糸会館）

【3月 9日 女性農業委員活動推進シンポジウム（東京都、都市センターホテル）】

【5月29日 全国農業委員会長大会・現地研修（～30日）（東京都、文京シビックホール他）】